

正 誤 表

「NiCE 老年看護学概論（第 3 版 第 1～3 刷）」

下記の箇所には誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
292	下から 6 行目から 1 行目	「平成 <u>25</u> 年人口動態統計」によれば、日本の死因順位は第 1 位が悪性新生物，第 2 位は心疾患，第 3 位は肺炎である。そして，4 位に脳血管疾患，5 位に <u>老衰</u> となっている。表 IX-2 に 65 歳以降の年齢層別，死因順位 5 位までを示した。65～ <u>79</u> 歳までの死因順位は第 1～ <u>5</u> 位まで同じである。80 歳以降は第 <u>3</u> 位までに肺炎が入り， <u>85</u> 歳以上になると老衰が <u>順位を上げて</u> いる。 <u>65～84 歳で不慮の事故が 5 位</u> となっているが，事故内容は転倒・転落，溺死および溺水，窒息などである。	「平成 <u>30</u> 年人口動態統計」によれば，日本の死因順位は第 1 位が悪性新生物，第 2 位は心疾患，第 3 位は <u>老衰</u> である。そして，4 位に脳血管疾患，5 位に肺炎となっている。表 IX-2 に 65 歳以降の年齢層別，死因順位 5 位までを示した。65～ <u>84</u> 歳までの死因順位は第 1～ <u>3</u> 位まで同じである。80 歳以降は第 <u>5</u> 位までに <u>老衰</u> が入り， <u>95</u> 歳以上になると老衰が <u>第 1 位</u> となっている。 <u>不慮の事故が 65～69 歳で第 4 位，70～79 歳で第 5 位</u> となっているが，事故内容は転倒・転落，溺死および溺水，窒息などである。
314	b 項の本文 4 行目	<u>2007</u> (平成 27) 年	<u>2015</u> (平成 27) 年
314	c 項の本文 1 行目	<u>2017</u> (平成 27) 年	<u>2015</u> (平成 27) 年

2022 年 3 月 31 日

株式会社南江堂